

船舶事故調査報告書

令和5年12月20日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突（灯浮標）
発生日時	令和5年4月18日 06時37分ごろ
発生場所	秋田県能代市能代港 能代港第2号灯浮標 能代港外港南防波堤灯台から真方位058°1,200m付近 （概位 北緯40°12.5 東経139°59.4 ）
事故の概要	貨物船 <sup>ラン ドン</sup> RUN DONG 2は、入航中、灯浮標に衝突した。
事故調査の経過	令和5年4月20日、主管調査官（仙台事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	貨物船 RUN DONG 2（中華人民共和国香港特別行政区籍）8,604 トン 9658173（IMO番号）HONGKONG RUNDONG SHIPPING CO., LTD
乗組員等に関する情報	船長（中華人民共和国籍）免状不詳
負傷者	なし
損傷	本船 船尾外板、船尾船底外板及びプロペラシャフトに擦過傷 灯浮標 浮体に凹損、アンカーチェーンに曲損
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南東、風力 1、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮末期
事故の経過	<p>本船は、船長ほか17人（中華人民共和国籍8人、ミャンマー連邦共和国籍9人）が乗り組み、左舷船首側にタグラインを取り、着岸予定の能代港大森岸壁に向かった。</p> <p>船長は、能代港第2号灯浮標（以下「2号灯浮標」という。）を右舷船首方に見て、大森岸壁に向けて北東進中、船首方の同岸壁とその南方に設置された‘ふ頭築造工事の仮設黄色灯浮標’（以下「工事用灯浮標」という。）を認めたが、同岸壁と工事用灯浮標にのみ注意を向けて航行していた。</p> <p>本船は、船長が、船首尾部に配置していた乗組員から報告を受けて2号灯浮標に接近していることを知ったが、どうすることもできず、右舷船尾部が2号灯浮標に衝突した。</p> <p>本船は、2号灯浮標に衝突した際、2号灯浮標のアンカーチェーンがプロペラシャフトに絡まって航行不能となった。</p> <p>船長は、本事故の発生を現地代理店経由で海上保安庁へ通報した。</p> <p>本船は、絡まった2号灯浮標のアンカーチェーンを切断した後、大森岸壁に着岸した。</p>
分析	本船は、入航中、船長が、大森岸壁と工事用灯浮標にのみ注意を向けて航行を続けたことから、2号灯浮標に接近していることに気付く

	のが遅れ、右舷船尾部が2号灯浮標に衝突したものと考えられる。
<b>原因</b>	本事故は、本船が、入航中、船長が、大森岸壁と工事用灯浮標にのみ注意を向けて航行を続けたため、2号灯浮標に接近していることに気付くのが遅れ、右舷船尾部が2号灯浮標に衝突したものと考えられる。
<b>再発防止策</b>	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 船長は、特定の物標等のみに注意を払わず、全周に渡って常時適切な見張りを行うこと。</li></ul>